

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (低)・拍に合わせて体を動かしたり、リズム打楽器を演奏したりする活動を充実させ、音楽の楽しさを味わせることにより、主体的に学習に取り組めるようになった。
- (中)・器楽活動において、鍵盤ハーモニカの運指を正しく守りながら演奏する活動に主体的に取り組めるようになった。運指を正しく守って演奏することの重要性について理解したことをリコーダーの学習に生かせるようになった。
- (高)・鑑賞の学習では、楽曲に登場する音楽の要素を理解し、音楽要素のキーワードを参考にしながら楽曲のよさや面白さを書きだすことができた。

(2) 課題

- (低)・器楽領域において、運指を理解して演奏する力を伸ばすことができたが、音の長さや休符の位置を意識して演奏することに課題が見られるので、拍の長さなどの楽典指導を根気強く続ける。
- (中)・リコーダーの運指理解や息の遣い方に課題が見られる。普段の授業から基礎練習を積み重ね、リコーダーへの苦手意識を取り除いていけるようにする。
- (高)・変声に伴う音程の取りづらさ・困難を感じている児童が見られるので、無理のない音域で歌えるように発声練習等を積み重ね、歌うことに慣れさせていく。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎合奏活動は分かりやすいルールを設定し、音を合わせることの心地よさを体感させ、時間の許す限り多くの合奏活動を取り入れる。	・学習の中で様子を表す言葉と共通事項を関連付けて指導していき、思いと言葉をつなげ、伝える力を伸ばす。	・CDを使用したリレー奏や手拍子でのリズム遊びを取り入れ、拍の流れを感じ取りながら歌ったり演奏したりできるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎フラッシュカードやICTを活用したり、指番号の確認で運指指導の時間を取り入れたりするなど、既習事項について着実に理解させ自信をつけさせる。	・客観的に振り返りができるよう、グループごとに聴き合ったり、自分たちの演奏をタブレットで録音、鑑賞したりする学習を取り入れる。	・音楽の要素を表すキーワードや話型を提示し、配慮が必要な児童が積極的に活動に参加できるよう支援する。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎リコーダー指導において運指やタンギング・サミング奏法を基礎練習で丁寧に確認し、スモールステップで児童を認めながら指導する。	・客観的に振り返りができるよう、グループごとに聴き合ったり、自分たちの演奏をタブレットで録音、鑑賞したりする学習を取り入れる。	・演奏技能や鑑賞の既習事項は繰り返し復習の時間を取り入れ、児童ができるようになったことを実感し前向きに授業に取り組むことができるようにする。